

# 荒川区

町会ってなんだろう?どんな活動しているの?あらぶんちよ地区の町会長にお聞きします

# あらぶんちよ町会見聞録

第6回



町会に参加すると、地域に仲間ができたり、自分が住んでいるまちに対して愛着が生まれたり。まずはお祭りやイベントに参加してみよう!



## 自分たちの手で助ける 区民レスキュー隊の パイオニア的存在

火が来る前に救出を。災害時は住民同士の助け合いが一番



### 西尾久四丁目町会 会長 川島一太さん

私たちが区民レスキュー隊を結成したのは平成7年、阪神淡路大震災の3ヶ月後です。木造の家、密集した地域、狭い道幅。場所が違えば自分たちも同じだという思いから、当時100名ぐらいが集まりました。でも最初は機材も何にも無くて、それで降逐次、お祭りを節約したり、旅行を控えたりして機材を揃え、区からの支援のおかげもあって、チェンソーにエンジンカッター、コンクリート粉砕機、油圧ジャッキなど、今ではプロ級の機材を揃えるまでになりました。東京直下型大地震がくると言われていますが、地震があつた直後に

### 都内で初めて町会で レスキュー隊を結成

#### ●西尾久四丁目町会

都内で初めて区民レスキュー隊を結成。総理大臣賞も受賞した区民レスキュー隊のパイオニア的存在。550世帯のうち町会役員には若い世代も多い。主な行事は、5月の川の手荒川まつり、6月のレスキュー隊訓練、8月の八幡神社例大祭、11月のワクワク祭り、12月のもちつき大会など。



西尾久四丁目南児童遊園にある機材倉庫には、他町会にはない珍しい機材がたくさん!

### 町会で独自に考えた 年4回の実践的な訓練

訓練は年に4回。3月・6月・9月・12月で、うち3回は機材が動くかの起動訓練で、全員参加の総合訓練は年1回、だいたい12月に行うことが多いです。我々の訓練は、消火よりも人を助け出すことを優先した独自のものです。例えば地震発生後1時間以内に倒壊建物から人が



総合訓練には荒川第七中の生徒たちも参加し、実際に機材を使いながらの防災訓練を行っている

救出を行うと想定し、チェンソーで倒れてきた梁に見立てた木材を切ったり、油圧ジャッキで瓦礫を持ち上げたり。いざという時に皆が機材を使えるように、町内を4つに分け、各班輪番制にして交代で担当を変えて訓練しています。

### 家族を災害から守るため 訓練でノウハウを学んで

当町会のレスキュー隊は都内屈指の実力集団ですが、いざという時は皆さんの力が必要です。でも例えば、大きな消火器にはオイルとガソリンを混ぜた混合油を入れられないといけないのですが、知らず知らずとオイルだけを入れてしまったとすると機材が動かなくなってしまう。そんな事態にならないためにも、一度は訓練に参加し、機材の使い方や心肺蘇生の方法などを覚えていただきたい。レスキュー隊員も随時募集していますので、興味のある方はぜひ!





## 住んで楽しい町を目指し イベントを充実させて 新規住民と親交を深める

親子で地域に親しんでもらえるよう、子ども向けイベントを充実

### 荒川宮地町会 会長 太田元次郎さん



#### ● 荒川宮地町会

会員数は1,300世帯3,000人以上という大きな町会。町内にマンションが100軒以上あり、新しい住民も多いエリアだが、イベントを精力的に行い、ふれ合うことで、町会加入率80%を誇っている。主な行事は、6月の天王祭、11月のもちつき大会のほか、「あそぼうさい」も開催。問:03-6323-9813

#### マンション対策として 子どものイベントを充実

当町会内にはマンションが100軒近くあり、全1300世帯中の約半分はマンションの方々になります。ですから、マンション対策は町会の一番の課題。小学校に通うお子さんを持つご家庭が多いので、子ども向けのイベントをできるだけ多くやって、親御さんにも出てきていただけるよう努めています。青年部がよく頑張ってくれています。

おかげ様で祭礼はもちろんです、11月に行うもちつき大会にも250名もの人が集まります。うちもちつき大会でも景品を出します。珍しいでしょ。私は常にプラスアルファをしていこう、前回と同



各イベントはポスターを貼って告知。ポスターはデザイナーである太田さんが自ら作っているそう



荒川5丁目の宮地こいのぼり公園が会場だった「あそぼうさい」。今年度の内容や場所についてはまだ未定

#### 遊びながら防災訓練 「あそぼうさい」を開催

また、普通は防災の日付近に行う防災訓練も、うちは2月頃に「あそぼうさい」と名付けて行い、遊びながら防災訓練をするイベントにしています。今回で4回目になります。第1回は京成の高架下の藍染川の暗渠を通行止めにして、楽団をよび、防災かるたや子どもが遊ぶコーナーを設けて、盛大に行いました。バスが通るようになり暗渠が使えなくなつたので、第2回は宮地こいのぼり公園で開催しましたが、これも来年から水道工事で当分使えなくなるので、場所の確保に頭を悩ませ

#### 若い世代を取り込んで 町会役員確保に尽力

うちの町会は町会役員が50名ほどいるんですが、若い世代からベテランまで幅広く参加してくれていて、30代から70代まで一緒になって活動しています。

私は、できるだけ町会役員を多くしようと思っっているんです。そのために、交通や防犯、防火の係の者が一緒に集まれる機会を増やしたり、月に一度の理事会には出られなくてもイベントをやった時に自分の都合で出てくれればいい、ということにしたり。そうしたら役員になつてくれる人が増えました。また、現役世代も出られるようにと、理事会も19時半からと遅くしました。若い世代を取り込みつつ、どうやって上手に世代交代していくかが今後の課題ですね。

### あなたのまちの情報“データ放送”で安全・安心な暮らしにお役立てください

データ放送は、地上デジタル放送11chにてコミュニティチャンネルが受信できる環境であれば、テレビのリモコンで簡単に操作してご利用いただけます。ぜひお出かけ前に、緊急時にリモコンでチェックしてください！

#### ● 防犯情報、防災行政無線で安全・安心

◇「防災行政無線の音声をテレビで聞く」 防災行政無線の屋外スピーカーから流れる音声をそのままテレビで聞くことができます。

◇安全・安心メール お住まいの行政区より配信される安全・安心メールの緊急情報、災害情報や不審者情報などを転載しています。携帯電話やパソコンをお使いいただかなくてもテレビで即座にチェックできます。そのほか、各警察署、各消防署からのお知らせを随時更新しています。

#### ● あなたの町会・自治会情報配信中

各町会の基本情報やお知らせ、区からの情報を掲載中。掲載情報お待ちしています！

★インターネットでも配信中

『町会案内所』

<http://www.chokai.tcn-catv.co.jp/>

視聴方法はリモコンの「d」ボタンを押すだけ！







## 町の安心や安全のため タブノキの植樹活動や 防災機能付きビルを建設

タブノキの植樹や再開発を通して防災を主眼に町を再整備

### 町屋実揚町会 会長 木内輝男さん



#### ●町屋実揚町会

会員数は600世帯。古くからの住民も多く、都内有数の木造家屋密集地域である町屋4丁目の防災を考え、町屋町会連合会では「鎮守の森計画」としてタブノキの植樹を進めている。主な行事は、6月の天王祭のほか、高齢者のための「実揚ふれあいサロン」なども実施している。問：FAX03-3892-0794

#### 木造住宅が密集した 危険なエリアが多い町内

数年前に東京都が公表した「地域危険度」が都内で最も高かった町屋4丁目に当町会はあります。幅1mに満たない路地が迷路のように入り組む、木造住宅密集地が多いエリアです。このようなことになったのは、東京都が土地所有者に無断で、戦後すぐに仮設住宅を建設し、それを昭和24年から28年にかけて居住者に細分化して払い下げたためです。その後居住者たちが新たに住宅を建て替え、現在に至ります。もしこの密集地で火災が起きれば、延焼は免れません。この事態を改善するため「町屋2、3、4丁目防災まちづくり協議会」を発足し、

消防車が入れるように、例えば大門小学校の南を走る道路を含めいくつかの道を6mの道路に拡張してもらえよう、東京都に要望しています。

#### 今すぐできる延焼防止対策 タブノキを植える活動

また、火災による延焼を防ぐため、常緑樹のタブノキを植える「町屋100年の森防災事業計画」も町屋町会連合会としてスタート。保水力が高く燃えにくいタブノキは「タブノキ一本、消防車一台」と言われ、山形県酒田市の大火の際に、旧家の屋敷への延焼を2本のタブノキが食い止めたという話もあります。平成23年に稲荷神社にタブノキを20本植えたのを手始めに、24年度から毎年25本ぐらいずつ植え、苗木も毎年100本ほど配っています。今後も積極的に植樹活動を進め、地域の安全に努めていきたいと思っています。



災害時に避難所となる学校や区施設、一時避難所となる防災広場などにタブノキを植樹

#### 高度な防災機能を備えた 駅前マークスタワー

私の家は江戸時代から町屋に住んでいます。この辺りは古くは農家が多く、たびたび荒川（現・隅田川）の氾濫によって被害を受けていたため、農家には米の備蓄や避難用の木舟が備えられていたそうです。町屋駅前南地区の再開発事業として、平成18年に誕生したマークスタワーは、そんな祖先の教えが反映された、防災機能の充実した建物です。超高層中間免震構造を採用し、屋上ホバリング機能や1000トンの防火水槽をはじめ、防災用の井戸やマンホール型簡易トイレに、各種防災備品を完備してあります。有事の際には、備えだけではなく助け合える人間関係が大切です。天王祭などの町会行事を通して、地域で協力し合える関係、「地域力」を育んでいきたいと考えています。



全員同意型で平成18年に誕生した地上28階建てのマークスタワー

### “スマホ入門講座”を定期的で開催しております

現在弊社ではご加入者様限定の「初心者のためのスマホ入門講座」を月に2~3回定期的に開催しており、一昨年9月から51回で750名ほどのおお客様にご参加いただきました。

当講座ではスマートフォンを全くさわったことがない方向けに電源の入れ方・タッチ操作などの基礎から始め、講座の後半では今人気のLINEアプリなども体験して学んでいただけます。また、講座の最後にはお楽しみ抽選会や相談会も実施しております。

スマートフォンに買い替えをお考えの方、使い方がよくわからなくて困っている方、もっと使いこなしたい方など、ご家族やご友人をお誘い合わせの上、お気軽にお申込みください。

※開催情報は、あらぶんちよ通信の同封チラシおよびTCNホームページにてご案内しております。







## 消防団員は少数精鋭 老人ホームと連携して 合同防災訓練を実施中

町会行事は祭礼と防災訓練に特化。消防団ポンプ操法大会で優勝も!

### 隅田川平和会 会長 奥村喜明さん



#### ●隅田川平和会

一般世帯の他に、簡易旅館やビジネスホテル、老人ホームなどが混在するエリアなので登録世帯数こそ723世帯と多いが、実際の町会員数は300世帯ほど。主な行事は、1月の新年会、2月の節分祭、5月の石浜神社例大祭、9～10月の千寿苑との合同防災訓練、11月のもちつき大会など。

#### 登録世帯数は多いが 実際の町会員は少数

ワンルームマンションや簡易旅館、ビジネスホテルが17軒、老人ホームが2軒。当町会には、一般世帯の他にさまざまな業態が混在しています。山谷地区が近いので、この辺りは昔から簡易旅館が多く、地方から出てきた長期滞在者の彼らは、何ヶ月も働かないので住民票を取らなさいけない。すると登録上はうちの町会員となるので、登録世帯数は723世帯ですが、実際の会員世帯数は300超になります。ただし、町会費を徴収しているのは120軒ほどのため、企業やホテル、老人ホームなど法人の規模の大きいところにはご負担いただい

#### 町会活動は必要最低限 防災には注力しています

町内に公園や広場がないので、祭礼と防災訓練以外の行事は、今は休止中です。子どももの数も減りましたし。そのぶん、警察署や消防署、老人ホーム・千寿苑と合同で行う防災訓練は本格的です。ブルーシートを張った千寿苑にポンプで放水しながら施設内の人を助け出す訓練を、見ている人にも分かるように実況放送しながら行っています。現在8名の消防団員は、昨年の荒川区消防団ポンプ操法大会で優勝した精鋭たちなのですが、町内すべての道路に大型の消防車が入って来られるため危機感が薄いのか、訓練

#### 14年ぶりの当番町会だつた 今年の石浜神社例大祭

今年石浜神社の祭礼の当番町会でした。石浜神社の氏子町会は全部で7ヶ町あり、祭礼は1年おきなので、14年に一度の大役で。朝早くから夜遅くまで大変でしたよ(笑)。うちの町会は子ども神輿しかないのですが、神輿と山車を出すつよその町会からたくさん集まってきました。何年前かに山車が壊れた時には、修理に出すと100万円からかかるというので、自分たちでバラバラにして組み立てて直しちゃったんです。うちは自動車の修理屋だし、隣は部品屋だし、町内には大工もいるし。工夫すれば何とかなるもんです。小さな町会ならです(笑)。



合同防災訓練も今年で14回目。実践的に、消防署に電話をかけるところから始まる



5月下旬の石浜神社の例大祭。本社神輿が渡御する本祭りは3日間におたつて行われた

### 第7回 あらぶんちよドラマチックフォトコンテスト 受賞作品展開催

お客様への感謝還元のもと開催している「あらぶんちよドラマチックフォトコンテスト」。7回目となる今回も7月・8月に「いまを写す」をテーマに写真を募集し、たくさんのご応募をいただきました。厳正なる審査の結果選ばれた34点の優秀作品をご覧いただくべく、今年も受賞作品展を開催いたします。季節の風景、イベントでのひとこま、家族の記念…。みなさまからお寄せいただいた個性豊かな「いま」を、どうぞお楽しみください!

- 会 期 平成29年2月2日(木)～7日(火) ※会場都合により6日(月)はお休み
- 開催時間 10:00～18:00(2日/13:00～18:00、7日/10:00～16:00)
- 会 場 町屋文化センター2階 ふれあい広場(〒116-0002荒川区荒川7-20-1) 入場無料



★第7回グランプリ「仲よし三きょうだい」多和裕二さん